

(会議の経過) 第1回 一宮北中学校区 学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	※次第「3. 学校規模適正化、幼保一元化のこれまでの経緯について」、「4. 地域の委員会の役割について」を資料P 1～20により説明。
委員	子どもが減り、これからも少子化が予測されると言われたが、若者がここに残り、働けるような施策はあるか。でないと結局子どもが減り、適正規模を見直さないといけなくなるのではないか。
事務局	そのことについては非常に大きな問題だと認識している。以前は工場誘致等、政策としてあったのが、国内の現状では厳しい問題で。市では、定住促進施策等を地道に実施しているが、抜本的な解決には至っていない。今後も重要課題として取り組んでいきたい。
委員	この委員会の役割はとても重い責任を感じる。学校適正化に向けて、一步前に踏み出そうということになったら協議会になる。教育委員会の提案に対しこの委員会がノーという結論を出したらどうなるか。
事務局	繰り返しになるが、教育委員会としてはこの方向で進めていきたいと思っている。進めていく前提が地域の皆さんの理解。地域の皆さんが進めないという判断になら当分の間、進められないと思っている。いろいろな課題があり、子ども達のために非常に重い判断をしていただくことになると思うが、一緒に考えさせてもらって、より良い方向に地域としてまとまっていたらと思う。
委員	私は地区の代表として出席しているわけだが、私が地区の全ての住民の意思を反映することはできないわけで、重責を感じる。
事務局	気が重いお願いをしていることは認識している。それぞれの代表に集まってもらっているが、地域の方がどういう方向を望まれているのかは、委員の独断で言えないであろう。そのために、協議を進め、必要なら例えばアンケートで地域の意見を集約することもしながら方向性を決定していくことになろうかと思う。
委員	大きな問題であり、満場一致でということはないだろう。この委員会でどういう決議の仕方になるかは分からないが、教育委員会としては進めていきたい、委員会ではストップしたままだと、平行線を続けるのか。
事務局	過去の事例を見ても、地域の反対が一部あったとしても実施された例はある。100人が100人とも賛成というのは困難であり、限りなくそれに近づけるような、子ども達のためになる仕組みを作っていきたいという思い。何年も平行線で協議を続けるのは、委員の方にも大きな負担になるので、その時は一度、時間を置き、また時期を見て再開するという進め方になろうかと思う。
委員	資料の中でもあったが、この委員会ですべてを決めて住民を納得させるのは非常に難しい。アンケートをとってみるのも大切だが、いきなり意見を聞くというのはあまり意味がない。今日この委員会で初めて話を聞いた方もいるだろう。この委員会で方向性を決めるのであれば、常に行政がきめ細かに住民に知らせていくことが大切。でなければ勝手に委員会で決めたのではないかというとらえかたをされてしまうこともある。そういうことができないと、委員にとって本当に重荷になるということを知っていただきたい。
事務局	おっしゃるとおりであり、委員の方と協議をし、それを情報提供することで伝わっていく。会議録を作って公表し、議論を積み上げていきたい。色々な形で情報公開、資料提供をしていくので、逆にお願いになるが、それぞれの団体で

	<p>集まるようなことがあれば会議録や資料などを出して、議論もしていただきたい。</p>
委員	<p>進めるにしろ進めないにしろ、最終はこの委員会で決めなければ他に決めるところがない。子どもがいる親に意見を聞いたりし、気が重い結論を出さなければ仕方がないと思う。</p>
委員	<p>教育委員会の方針は、少子化の中での進むべき道としてはいいと思う。ただリスクも大きく、例えば繁盛、下三方の小学校が閉鎖になり、地域のコミュニティがなくなるとさらに過疎化が進むのではないかと思う。過疎化が進むと意味がない。デメリットの部分もあるので、進めるのならば宍粟市の保護者向けのビジョン、将来図のようなものを示さないと賛同をえるのは難しいと思う。</p>
事務局	<p>保護者向けビジョンとは、先ほども意見で出た若者が定住できる計画のようなものを言われているのか。</p>
委員	<p>そのとおりである。宍粟市は大きくは農業で進んでいく、林業で進んでいくなど、宍粟市らしいビジョンを示さないと進まないのではないかと思う。</p>
事務局	<p>地域の活性化をどうしていくのかも、もちろん考えていかなければいけない。そういうところも整理しながら、子どものためにどういう教育が必要なのか、地域の活性化はどうか、含めて議論していく必要があると思う。</p>
委員	<p>計画案の説明があったが、今後もう少し進んだ話をされる予定かも知れないがある程度、具体性のある話、イメージできるものを聞かないと、何から協議していいのかわからない。例えば跡地の活用方法など、少し具体的な話を聞かせてもらい、次回の課題はこれなどと、テーマを決めて考えていかなければいけないと思う。</p>
事務局	<p>新しい学校、幼保一元化施設とはどのようなものなのか、ソフトの部分ハードの部分でそれをお示ししていきたい。また跡地の活用については、資料のフロー図でも示しているが、教育委員会としては、議論をしないということではないが、跡地の活用についてはこの委員会ではなく別のテーブルで協議させてもらいたい。ただ、今すぐに跡地の活用方法が決まらなくても、この委員会では子ども達の環境についてまず協議をいただきたい。</p>
委員	<p>このまま会議が終わってしまうと昨年までの懇談会と同じことになる。もっと具体的な提案をして、例えば小学校は北中学校の付近にしたいが、繁盛、三方、下三方の人の意見はどうか、そのように進んでいかないと会議が進まない。平成21年の保護者アンケートでは、70%が今の小学校では人数が適切ではないという結果だと聞いている。のんびりしていると小学校6年生が中学生になり、適正な教育が受けられなくなってくる。急ぐ問題ではないか。</p>
事務局	<p>指摘のとおり急ぎたいと考えている。学校規模適正化については、学校の場所については連携型小中一貫教育を目指すことから中学校から近い小学校の校舎を利用したいというのが教育委員会としての考え方として示している。幼保一元化については特に場所を特定していないが、財政のことを考慮して、使える施設があればその施設を利用していきたい。ただこれはあくまで教育委員会の考えであって、今後、この委員会で協議していきたいということで理解願いたい。</p>
事務局	<p>※「5. 会長、副会長の選任について」、事務局で選考委員を選任し、選考委員で協議のうえ委員会で承認される。以降、会長の議事により進行。</p>
会長	<p>繁盛、三方、下三方は非常に広い地域であり、それぞれ特色もある。具体の協</p>

委員	<p>議に入る前に、各地区、各地域を見てもらうのはどうだろうかと思う。この会議の開催も繁盛、三方、下三方で順に開催してはどうか。</p> <p>若い方も多いので、全員参加は難しいかと思う。企画はしてもらい、参加できる人は参加してもらおうことでどうか。</p>
会長	<p>できる限りの参加をお願いしたい。現地視察の日程については、8月中くらいで調整することとする。</p>
事務局	<p>参加できる方で参加してもらおうということで、日程については会長と相談のうえ、案内をさせていただく。</p> <p>今後の進め方について、次回以降の会議で、この委員会での一定の協議の期間を決めていただきたい。また、課題である学校規模適正化と幼保一元化について、今回はこれを協議しようというようにテーマをある程度絞って進めてもらえたらと思う。</p>
会長 事務局	<p>教育委員会が言うような形で進めさせてもらってよいか。※委員異議なし</p> <p>※会議録の作成、次回センター三方で開催することについて了承。</p>

\* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。